

平成23年度認知症高齢者支援にかかる事業について

平成24年2月

大阪市 健康福祉局 高齢福祉課



## 1. 実施計画の進捗状況

### 連絡会議の開催

- ・第1回連絡会 平成23年6月10日(金)14:00~15:30
- ・第2回連絡会 平成23年7月15日(金)15:00~16:00
- ・第3回連絡会 平成23年9月15日(木)14:00~15:30
- ・第4回連絡会 平成23年11月11日(金)15:00~16:00
- ・第5回連絡会(予定) 平成24年1月13日(金)14:00~15:30
- ・第6回連絡会(予定) 平成24年3月9日(金)14:00~15:30

### 連絡会議メンバー

医師会・居宅介護支援事業者連絡会・通所連絡会・区保健福祉センター・福島区訪問看護ステーション

今後の改善点：在宅医療を考える会（介護と医療の現場の関係性の改善し、互いの職種への知識と理解を深める）が元になっているため、医師会、居宅支援事業所、通所サービス連絡会、訪問看護連絡会、MSW 連絡会、地域包括支援センターなどが主体となっている。今後、地域の関係者などをメンバーに声をかけていく予定。

### 事例検討(予定)

平成24年3月9日(金)14:00~

講師：塚本 雅子 先生(福島区医師会理事)

内容：認知症の方の思いを知り、各援助者の役割機能・連携について深める  
研修

平成23年11月11日(金)14:00~15:00 福島区民センター 48名

対象：医師会、居宅連絡会、通所連絡会、施設連絡会

内容：認知症サポート医の概要・活動について

### シンポジウム(予定)

平成24年1月25日(水)14:00~15:45 福島区役所 6階会議室

対象：市民及び認知症の医療・介護に関わる専門職の方々

講師：中西 亜紀 先生(大阪市立弘済院附属病院神経内科・精神神経科部長)

内容：シンポジウム「もの忘れ?もしかして認知症?」

早く気づくコツと新しいお薬のお話

## 2. 連絡会議の中で浮き彫りとなってきた課題

- ・認知症高齢者の相談体制を整える。また、区における診断・治療状況等を把握し、共通認識を持つ。
- ・かかりつけ医とケアマネジャーとの連携支援体制を作成する。

## 3. 具体的な取り組み内容

- ・連絡会議の愛称を設定(福島幸せプロジェクト)
- ・福島区認知症連携事業のキャラクターを作成
- ・シンポジウムにて配布予定の認知症支援普及啓発クリアファイル作成(医師会との共同制作を検討中)

## 1. 実施計画の進捗状況

連絡会議の開催（時間はいずれも14:00～15:30）

- ・第1回連絡会 平成23年7月27日（水）
- ・第2回連絡会 平成23年9月27日（火）
- ・第3回連絡会 平成23年11月30日（水）
- ・第4回連絡会（予定） 平成24年1月25日（水）
- ・第5回連絡会（予定） 平成24年3月27日（火）

連絡会議メンバー

医師会・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション・区保健福祉センター・ランチ  
選定にあたって考慮した点：認知症に対して幅広い知識をもつ経験豊富者

事例検討

平成23年7月27日（水）14:00～

司会：西区地域包括支援センター

内容：認知症状を受け入れられない家族支援

シンポジウム（予定）

平成23年12月17日（土）13:30～15:30 西区民センター

対象：区民及び認知症の医療・介護に関わる専門職

講師：深尾 晃三 先生（ほくとクリニック病院院長）

内容：講演会（認知症を理解する）および、質問タイム

## 2. 連絡会議の中で浮き彫りとなってきた課題

- ・ かかりつけ医とケアマネジャーとの連携を図るため支援体制強化を目指す
- ・ かかりつけ医と認知症専門医療機関との連携

## 3. 具体的な取り組み内容

- ・ 以前作成していた連携シートを使用しやすいよう変更検討
- ・ 講演会にてかかりつけ医と認知症専門医療機関との連携についての話をもちこむ

## 1. 実施計画の進捗状況

### 連絡会議の開催

- ・第1回連絡会 平成23年 6月27日(月) 15:30~17:00
- ・第2回連絡会 平成23年 8月29日(月) 15:30~17:00
- ・第3回連絡会 平成23年10月20日(木) 14:30~16:30(事例検討会)
- ・第4回連絡会 平成23年10月28日(金) 14:30~16:00
- ・第5回連絡会 平成23年12月15日(木) 14:30~16:00
- ・第6~7回連絡会(予定) 平成24年1~3月

### 連絡会議メンバー

大正区医師会・認知症疾患医療センター(ほくとクリニック病院)・大正区内訪問看護ステーション・大正区居宅介護支援事業者連絡会・区保健福祉センター

選定にあたって考慮した点:大正区医師会と相談の上、現在認知症高齢者にかかわる中核的關係機関を厳選して選定。今後メンバーをどのように広げていくかも含めて連絡会で検討していくこととする。

### 事例検討

平成23年10月20日(水)14:30~16:30

講師:大阪市社会福祉研修情報センター スーパーバイザー

沖田 裕子 氏

内容:要介護認定未申請の軽度認知症初回相談事例を基に、認知症を早期に発見し、適切な時期に医療や介護保険等の保健福祉サービスを受けられるための連携・支援体制を考える。

### シンポジウム

平成24年11月19日(土)14:30~16:30 アゼリア大正ホール 178名

対象:市民及び認知症の医療・介護に関わる専門職の方々

内容:全体テーマ「認知症 つなげよう!地域支援の輪」

基調講演:「連携による認知症患者さんへの理想的な対応」

大阪市立大学大学院医学研究科 老年内科学教授 三木 隆己 先生

シンポジウム:「認知症患者さんを支える地域の連携について」

(司会)大正区医師会副会長 榎原 秀一 先生

(コメンテーター)三木 隆己 先生

(シンポジスト)大正区医師会医師、訪問看護ステーション所長、大正区居宅介護支援事業者連絡会幹事、地域ネットワーク推進員、包括職員

## 2. 連絡会議の中で浮き彫りとなってきた課題

- ・認知症の相談機関(包括・医療・介護)の周知が必要
  - ・認知症疾患医療センターが区内にあるが、受診や精神科に対する抵抗感が強い
  - ・認知症の相談機関(医療・包括・介護)の相互連携のシステムづくり(連携シートの検討含む)
  - ・合併症治療や薬物調整で入院できる医療機関との連携
  - ・個人情報と地域連携の範囲や、地域支援者と医療・介護専門職との連携
  - ・困難事例や複合的課題のある事例の支援のための支援者側のスキルアップ
- 連絡会メンバーだけでなく、より広い関係機関の支援者へアンケートを実施し、大正区における課題の抽出を図るため準備中

## 3. 具体的な取り組み内容

- ・支援者対象アンケートを今年度中に実施し、上記以外の課題の抽出を行い、具体的な取り組みの内容や優先順位を連絡会議で検討していく。

## 1. 実施計画の進捗状況

連絡会の開催（時間はいずれも14:00～16:00）

- ・第1回連絡会 平成23年4月21日（木）
- ・第2回連絡会 平成23年7月21日（木）
- ・第3回連絡会 平成23年10月20日（木）
- ・第4回連絡会（予定）平成24年1月19日（木）

連絡会メンバー

医師会・区保健福祉センター・ランチ・居宅介護支援事業者連絡会・ネットワーク推進員・社会福祉協議会  
地域活動担当

事務局：地域包括支援センター

選定にあたって考慮した点：認知症高齢者にかかわる地域関係者、専門職で構成する。

事例検討

平成23年10月20日（木）14:00～

内容：金銭管理ができない認知症女性の支援について  
グループディスカッション

研修

平成23年11月5日（土）14:30～16:30

対象：医師会会員、ケアマネジャー連絡会会員

内容：認知症高齢者の医療、福祉のスムーズな連携、具体的方策について検討する。

事例検討

内容：独居の認知症高齢女性を地域で支えるために

大阪市社会福祉研修情報センター スーパーバイザー：沖田 裕子 氏

シンポジウム（予定）

平成24年3月8日（木）13:30～15:30 浪速区民センター 300名

対象：区民及び認知症高齢者の医療・介護に関わる専門職

内容：認知症講演会

基調講演「私らしく生きるために ～みんなの安心 成年後見制度～」

パネルディスカッション

講師：大阪市立大学 大学院教授 岩間 伸之 氏

## 2. 連絡会議の中で浮き彫りとなってきた課題

- ・独居高齢者の割合が高い浪速区において、認知症高齢者の実態を把握し、かかわる専門職が共通認識を持つことはもちろん、住み慣れた地域で暮らし続けるための支援ネットワークの構築が必要である。
- ・医療、福祉のスムーズな連携のために、かかりつけ医とケアマネジャーが、気軽に連携をとれる関係づくりが重要である。
- ・認知症の診断において、かかりつけ医 認知症サポート医 専門医の連携が不十分で、身近に受診できる専門医療機関が不足している。
- ・認知症をもち他疾患で入院が必要となった場合、入院できる病院が少ない。

## 3. 具体的な取り組み内容

- ・シンポジウム開催において、認知症高齢者にかかわる地域関係者、医療、福祉の専門職で構成する認知症講演会実行委員会を作り、そのメンバーで内容、日程などを検討している。
- ・事前に配布する認知症講演会チラシに、認知症や介護に関する相談窓口を明記する。（現在作成中）
- ・認知症講演会で、認知症啓発に関する複数のパンフレット、啓発物品を配布予定。

## 1. 実施計画の進捗状況

連絡会議の開催 第1回連絡会 平成23年7月28日(木) 14:00~16:00  
第2回連絡会 平成23年9月1日(木) 14:00~16:00

連絡会メンバー

医師会、薬剤師会、歯科医師会、区保健福祉センター、ネットワーク推進員、民生委員、4 包括支援センター、社会福祉協議会、社会福祉施設連絡会、介護保険サービス事業所(ケアマネジャー、認知症対応型デイサービス、訪問介護、グループホーム)

選定に考慮した点 出来るだけ各サービス所属の連絡会等を通じて選定。

講演会(福祉大会との共催)平成23年10月21日(金)

講師:長谷川 和夫 先生

内容:認知症の心~より添う絆を創るために~

参加者:市民、介護事業者など 446人

事例検討会 平成23年12月1日(木) 14:00~16:00

講師:大阪市社会福祉研修情報センター スーパーバイザー 沖田 裕子 氏

内容:模擬事例を通じグループワークを行い、共通の理解をし、各援助者の役割・機能について理解を深める。

参加者:連絡会メンバー、各関係機関複数参加(医師6名) 計52名

シンポジウム(予定)

平成24年3月1日(木) 14:00~16:00

講師:大阪市社会福祉研修情報センター スーパーバイザー 沖田 裕子 氏

内容 事例検討会で見てきた課題に対し、来年度具体的な取り組みにつなげていくための話し合い  
参加者 平成23年12月1日の事例検討会の参加者の予定

## 2. 連絡会議のなかで浮き彫りとなってきた課題

・医療との連携だけでなく、包括と介護事業者、介護事業者同士の連携もシステム化されておらず、より密な連携が必要である。

## 3. 具体的な取り組み内容

・参加者それぞれが現在持っているネットワークを概念図に落とし込む作業をすることで、共通の認識を持つことが出来、包括と医療が核となって、そのつながりをより太くし、新たなネットワークシステムを創設していく必要が理解できた。

## 1. 実施計画の進捗状況

連絡会議の開催（時間はいずれも14:00～15:30）

- ・第1回連絡会 平成23年7月21日（水）
- ・第2回連絡会 平成23年9月8日（水）
- ・第3回連絡会 平成23年12月14日（水）
- ・第4回連絡会（予定） 平成24年2月頃

連絡会議メンバー

医師会・居宅介護支援事業者連絡会・ネットワーク推進員・区保健福祉センター・  
地域包括支援センター(旭区東部・旭区西部)・ランチ(旭陽・今市)・社会福祉協議会  
選定にあたって考慮した点：1年目なので支援を考え、実践できるメンバーを選定

事例検討（予定）

平成24年1月20日（金）14:00～

講師：沖田 裕子 氏（大阪市者会福祉研修・情報センター スーパーバイザー）

内容： 共通事例を用いたグループワークによる事例検討  
研修

- ・地域住民を対象とした学習会

平成23年10月19日（水）13:30～ 高殿南老人憩いの家 11名

平成23年11月16日（水）13:30～ 古市老人憩いの家 29名

平成23年12月7日（水）13:30～ 生江コミュニティ会館 27名

内容： 講義「認知症早めの気づきが肝心です！」 寸劇「どうしよう？こんな時！」

シンポジウム（医師会スキルアップ事業との共催）

平成23年11月17日（木）14:00～16:00 旭区区民ホール 239名

対象：市民及び認知症の医療・介護に関わる専門職の方々

内容：基調講演「認知症かな・・・？ その時、あなたは・・・」～認知症の理解・治療・対応～

講師：八森 淳氏（市立伊東市民病院地域医療研修センター長）

シンポジウム「家族が認知症かなって思うことがあったら地域でどんな事が出来るの？」

## 2. 連絡会議の中で浮き彫りとなってきた課題

区における現状と気づきより

- ・地域から医療へつなぎ早期に発見できる体制がない
- ・介護サービス事業者や地域関係者がそれぞれの役割・動きなどの理解を持つ必要がある
- ・認知症患者家族への支援体制をつくる必要がある
- ・地域住民の認知症への関心がまだまだ薄い

## 3. 具体的な取り組み内容

- ・連絡会議の愛称を設定（あさひほっとかんネット）
- ・認知症支援市民啓発用パンフレット作成

## 4. その他

- ・今年度の医師会の取り組みより  
「認知症医療・介護スキルアップ事業」において、医師・看護師・ケアマネジャー・ヘルパー等  
認知症医療・介護に携わる方を対象に講演会・事例検討の実施、区民向けの講演会の実施
- ・かかりつけ医がいない状態でのサポートとして、地域ごとの担当医制導入への検討

## 1. 実施計画の進捗状況

### 連絡会議の開催

- ・第1回連絡会 平成23年7月11日(月)15:00~16:00
- ・第2回連絡会 平成23年10月12日(水)14:00~16:00
- ・第3回連絡会 平成23年11月12日(土)14:00~16:00
- ・第4回連絡会 (予定)平成24年2月17日(金)14:00~16:00
- ・第5回連絡会 (予定)日程未定

### 連絡会議メンバー

医師会・歯科医師会・薬剤師会・介護保険事業者連絡会・地域振興会・警察署・消防署・民生委員協議会  
 地域女性団体協議会・老人クラブ連合会・コミュニティ協会・老人福祉センター・区保健福祉センター・  
 医療ソーシャルワーカー・西部地域包括支援センター・区社会福祉協議会・  
 社会福祉施設連絡会・ランチ

選定にあたって考慮した点：医師会と包括から地域医療の中核となる病院に説明した。医師には  
 医師から、医療連携室には包括支援センターから連絡し、その後  
 会議に出てもらえる相談員を紹介してもらった

### 事例検討

平成23年10月12日(水)14:00~16:00

進行役：鶴見区地域包括支援センター主査 平山 昭子 氏

内容：認知症事例によるグループワークをとおして、医師と顔の見える関係となり、それぞれの役割  
 を理解し連携を深めた。

### シンポジウム

平成23年11月12日(土)14:00~15:30 鶴見区民センター 小ホール 200名

対象：市民及び認知症の医療・介護に関わる専門職

内容：特別講演「認知症かなと思ったら…」

講師：大阪市立大学大学院医学研究科 老年内科学教授 三木 隆巳 先生

「鶴見区の現状」

講師：鶴見区地域包括支援センター主査 平山 昭子 氏

「サービス担当者会の実例」

司会：鶴見区医師会副会長 高山 進 先生

### 家族介護支援教室との合同講演会(予定)

平成24年2月17日(金)14:00~16:00 鶴見区民センター 小ホール

対象：市民及び認知症の医療・介護に関わる専門職

内容：講演「心に寄り添う認知症介護」

講師：詩人・児童文学作家 藤川 幸之助 先生

## 2. 連絡会議の中で浮き彫りになってきた課題

- ・かかりつけ医とケアマネジャーとの連携を図るため支援体制強化を目指す
- ・中核となる病院に認知症の患者が入院した際の対応
- ・精神科が区内に1ヶ所しかなく、認知症のケースの医療連携がとりにくく、内科医が紹介先に迷うことがある

## 3. 具体的な取り組み内容

- ・連絡会議の愛称を検討
- ・医療機関・地域包括支援センター連携シート作成
- ・グループワークのファシリテーション研修の開催

## 1. 実施計画の進捗状況

連絡会議の開催（時間はいずれも13：30～15：30）

- ・第1回連絡会 平成23年7月28日（木）
- ・第2回連絡会 平成23年10月6日（木）
- ・第3回連絡会 平成23年11月17日（木）
- ・第4回連絡会（予定） 平成24年1月19日（木）

連絡会議メンバー

医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所連絡会・訪問介護事業所連絡会・通所介護事業所連絡会・在宅介護支援センター・保健医療福祉ネットワーク推進員連絡会・民生委員協議会・阿倍野介護家族の会「えがおの会」・キャラバンメイト連絡会・区保健福祉センター・社会福祉協議会  
選定にあたっては、区と相談し、区・医師会・区社協を中心に、保健・医療・福祉の各分野から、また地域組織からの出席を依頼した

事例検討（時間はいずれも13：30～15：30）

- ・第1回 平成23年10月6日（木）
- ・第2回 平成23年11月17日（木）

講師：沖田裕子氏（大阪市社会福祉研修・情報センター スーパーバイザー）

内容：共通事例を用いたグループワークによる検討とし、認知症の事例を通して各関係機関の役割を確認し、連携についての理解を深める

シンポジウム（予定）

平成24年2月25日（土）14:00～16:00 阿倍野区役所 200名

対象：認知症高齢者に関わる医療・介護の支援者

テーマ：認知症に気づき、つなぐ

講師：認知症サポート医 松本診療所（ものわすれクリニック）院長 松本 一生 先生

内容：・基調講演「認知症の早期発見と気づきのポイント」

・パネルディスカッション「事例を通して考える～認知症の気づき～」

## 2. 連絡会議の中で浮き彫りとなってきた課題

- ・区における認知症高齢者の実態等現状を正しく把握し、共通認識を持つ
- ・かかりつけ医との連携を図り、支援体制の強化を目指すために、共通のツールを検討する

## 3. 具体的な取り組み内容

・関係機関が一体となって認知症支援に取り組む意識を高めることを目的に、愛称を募集し、「あべのあいあいねっと」（あなたがべのあなたらしくいあなたのみままでいねっと）に決定した

## 1. 実施計画の進捗状況

連絡会議の開催日（時間はいずれも14:00～15:30）

- ・平成23年7月8日（金）
- ・平成23年7月22日（金）
- ・平成23年8月19日（金）
- ・平成23年8月26日（金）
- ・平成23年9月16日（金）
- ・平成23年10月28日（金）
- ・平成23年11月10日（木）
- ・平成23年11月11日（金）
- ・平成23年11月18日（金）
- ・平成23年12月16日（金）

連絡会議メンバー

区医師会、住之江区地域包括支援センター、さきしま地域包括支援センター、区保健福祉センター、安立・敷津浦地域包括支援センター、加賀屋・粉浜地域包括支援センター、ランチ〔3か所〕

選定にあたって考慮した点：・区医師会と地域包括支援センター（ランチ）の連携を深める事

・新設〔又は2年目〕の地域包括支援センターもあり、本事業を、地域における地域包括支援センター（ランチ）の役割を共に考え、取り組む機会とする事などから、今年度はコアメンバーで取り組みながら、今後、他機関への協力依頼を検討、ネットワーク化を図る。

事例検討

日時：平成23年11月18日（金）14:00～

目的：認知症（独居）の方への地域での支援状況を振り返り、各援助者の役割・連携について考える

研修

日時：平成23年10月28日（金）14:00～

講師：認知症サポート医 住之江区医師会 久掘 保 先生

対象：ケアマネジャー等専門職

目的：専門職の認知症に関する正しい理解を図る

講演・シンポジウム（予定）

日時：平成24年2月16日（木）14:00～16:00 住之江区民ホール

講師：認知症サポート医 住之江区医師会 久掘 保 先生

認知症介護指導者 松原 宏樹 氏

対象：区民及び認知症の医療・介護に関わる専門職の方々

目的：「認知症」の病気や対応方法に関する正しい理解を深め、地域で連携、支援する必要性の認識を図る。

## 2. 連絡会議の中で浮き彫りとなってきた課題

- ・地域住民はもとより、医療関係者、介護職においても認知症に関する理解を深める必要性。
- ・認知症の正確な診断が受けられる、またBPSDなど周辺症状に対応していただける医療機関の充実。

## 3. 具体的な取り組み内容

- ・認知症支援周知用パンフレット作成（検討中）
- ・「認知症サポーター養成講座」を活用し、行政、地域、介護関係者等への、認知症の正しい理解を図る。

## 1. 実施計画の進捗状況

連絡会議の開催（時間はいずれも14:00～15:30）

- ・第1回連絡会 平成23年8月8日（月）
- ・第2回連絡会 平成23年10月24日（月）
- ・第3回連絡会 平成23年11月14日（月）
- ・第4回連絡会（予定） 平成24年1月23日（月）
- ・第5回連絡会（予定） 平成24年3月19日（月）

連絡会議メンバー

医師会・歯科医師会・薬剤師会・居宅介護支援事業者連絡会・ネットワーク推進員  
区保健福祉センター（高齢福祉・健康相談）

住吉区北地域包括支援センター・住吉区東地域包括支援センター・住吉区地域包括支援センター

選定にあたって考慮した点：認知症高齢者との関わりについて、第一線で活動されているという点

事例検討

平成23年10月24日（月）14:00～15:30

講師：大阪保健医療大学 講師 橋本 卓也 先生

内容：認知症高齢者への関わりに対する各関係機関の役割機能を知り連携について深めた  
研修・シンポジウム（予定）

平成24年2月25日（土）13:30～16:00 区民センター大ホール

対象：区民・関係機関等 500名

内容：第1部 講演「認知症の人と家族を支える地域づくり」

講師：東京大学大学院医学系研究科 客員研究員 鷹野 和美 先生

第2部 シンポジウム（パネルディスカッション）「認知症になっても安心できる地域づくり」

コーディネーター 鷹野 和美 先生

パネラー 医師会理事 ほか

## 2. 連絡会議の中で浮き彫りとなってきた課題

- ・各関係機関の役割について、わかっているようで、実は互いに理解できていなかったこと
- ・個々の関係機関では、認知症に対する関わりがあるが、相互に連携し支援する際に、自身の機関、また他機関の役割が理解できていない。
- ・関係機関・地域の連携の必要性が改めて浮き彫りになった
- ・かかりつけ医とケアマネジャーとの連携を図るための具体的な方策を引き続き検討することが必要

## 3. 具体的な取り組み内容

- ・連絡会議の愛称を設定（すみちゃんるるネット）
- ・シンポジウムにてネットワーク事業立ち上げ紹介ビラを配布予定

## 1. 実施計画の進捗状況

連絡会議の開催（時間はいずれも14:00～15:30）

- ・第1回連絡会 平成23年8月30日（火）
- ・第2回連絡会 平成23年9月30日（金）
- ・第3回連絡会(企画班) 平成23年10月12日（水）
- ・第4回連絡会(企画班) 平成23年11月14日（月）
- ・第5回連絡会（予定） 平成24年1月31日（火）
- ・第6回連絡会（予定） 平成24年3月

連絡会議メンバー

医師会、歯科医師会、薬剤師会、福祉事業者連絡会(居宅、デイサービス)、区保健福祉センター、玉出地域包括支援センター、西成区北西部地域包括支援センター、西成区東部地域包括支援センター、地域包括・在宅介護支援センター連絡会(ランチ)

選定にあたって考慮した点：認知症高齢者の支援で医療との連携において出来るだけ実際の連携を行っている機関を中心に考えた。初年度は専門機関のみにとどめお互いの役割・機能の理解が深められるようにした。

事例検討

平成23年11月30日（水）14:00～16:00

講師：大阪市社会福祉研修情報センター スーパーバイザー 沖田 裕子 氏

内容：認知症の方の思いを知り、各援助者の役割機能・連携について深める

研修（予定）

平成24年2月28日（火）午後(未定) 西成区民ホール（定員）700名

対象：連絡会議メンバー所属団体(専門機関)

内容：(未定)

シンポジウム（予定）

平成24年2月28日（火）午後(未定) 西成区民ホール（定員）700名

講師：医療法人 山紀会 山本第三病院 総副院長 新谷 雅司 先生

対象：連絡会議メンバー所属団体(専門機関)

内容：(未定)

## 2. 連絡会議の中で浮き彫りとなってきた課題

- ・相談窓口の明確化
- ・独居認知症高齢者の支援体制づくり
- ・医療機関と地域包括支援センターの連携強化
- ・かかりつけ医とケアマネジャーの連携のみにとどまらずサービス提供事業所との連携も強化する。
- ・地域住民による見守りによる発見システムの強化

## 3. 具体的な取り組み内容

- ・事例検討、研修を企画するに当たり、企画班を立ち上げ具体的内容を検討した。
- ・事例検討研修に多職種の参加を得るため、医師会、福祉事業者連絡会、区役所三者で従来実施してきた「医療と福祉の連携～合同フォーラム～」の形での実施の了承を得た。
- ・事例検討研修に医師の参加を得るため、「日本医師会生涯教育制度」の申告により単位取得研修として位置づけた。

## 平成23年度 認知症地域ケア多職種共同研修事業の取組み状況

### <地域ケアネットワーク研修分>

#### 都島区

1. 日時：平成23年7月29日（木）<医師会共催>【46名】  
内容：共通事例を用いたグループワークによる検討  
～認知症支援関係者の役割を考える～  
講師：沖田 裕子 氏（大阪市社会福祉研修・情報センター）
2. 日時：平成23年9月29日（木）<医師会共催>【31名】  
内容：共通事例を用いたグループワークによる検討  
～効果的な連携と支援策について考える～  
講師：沖田 裕子 氏（大阪市社会福祉研修・情報センター）
3. 日時：平成24年2月9日（木）【161名】  
内容：講演  
「私の介護体験と知っておきたい心構え」  
講師：横井 孝治 氏（介護情報サイト「親ケア.com」管理人）  
  
報告：「都島区の取組みについて」  
柏井 卓 先生（都島区医師会 理事  
都島区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会）  
藤原 裕行 氏（都島区キャラバンメイト連絡会）  
浦林 純江 氏（都島区保健福祉センター）

#### 西淀川区

1. 日時：平成23年12月6日（木）<医師会共催>【63名】  
内容：共通事例を用いたグループワークによる検討  
～認知症本人・家族を中心とした地域支援のあり方～  
講師：沖田 裕子 氏（大阪市社会福祉研修・情報センター）
2. 日時：平成24年2月25日（土）<医師会共催>【定員230名】  
内容：講演  
「すこやかに暮らすための家族の認知症への理解とケア」  
講師：斎藤 正彦 先生（和光病院 院長）
3. 日時：平成24年3月14日（水）<医師会共催>【定員60名】  
内容：講演  
「認知症の基本知識と最近の知見」  
講師：滝本 裕 先生（千船病院）  
  
講演  
「千船病院におけるものわすれ外来での取り組み」  
講師：安井 美鈴 先生（千船病院 リハビリテーション科）

## 港区

1. 日時：平成23年10月15日(土) <医師会共催> 【30名】  
内容：共通事例を用いたグループワークによる検討  
講師：塩見 啓二 先生(塩見医院 院長)  
橋本 美紀 氏(港区医師会訪問看護ステーション所長)  
福岡 浩恵 氏(港区地域包括支援センター主査)  
山本 信也 氏(ケアプランセンターやすらぎ管理者)
2. 日時：平成24年 2月 8日(水) <医師会共催> 【79名】  
内容：講演  
「認知症を考えよう」  
講師：松本 和雄 先生(松本クリニック院長)  
  
情報提供：「地域包括支援センターご存じですか？」  
福岡 浩恵 氏(港区地域包括支援センター主査)
3. 日時：平成24年 3月10日(土) <医師会共催> 【定員100名】  
内容：講演  
「認知症について」  
講師：中西 亜紀 先生(大阪市立弘済院附属病院神経内科・精神神経科部長)  
  
報告：「認知症に関するアンケートの結果報告」  
福岡 浩恵 氏(港区地域包括支援センター主査)

## 生野区

1. 日時：平成23年 9月5日(月)・14日(水)【167名】  
内容：講演  
「認知症と民生委員・児童委員活動について」  
講師：松原 宏樹 氏(瑞光苑ケアプラン事業部門長)
2. 日時：平成24年 3月17日(土) <医師会共催> 【定員650名】  
内容：講演  
「認知症になっても安心して暮らせるために」  
講師：片山 禎夫 先生(国立病院機構広島西医療センター 臨床研究部長)  
  
報告：「認知症とかかりつけ医について」生野区医師会  
「認知症と口腔ケア」歯科医師会生野区支部  
「認知症と服薬管理等」生野区薬剤師会

## 平野区

1. 日時：平成23年10月 8日(土) <医師会共催> 【147名】

内容：医療編講演

「認知症の医学的特徴について～医学的特徴と早期診断～」

講師：金田 大太 先生(大阪赤十字病院 神経内科)

福祉編講演：「その人を知ろう」

講師：川本 修次 氏(大阪府キャラバンメイト連絡会代表)

後藤 直樹 氏(岡本介護センター岸和田)

2. 日時：平成24年 1月21日(土) <医師会共催> 【404名】

内容：講演

「認知症の人を支える地域づくり in 平野区」

講師：永田 久美子 氏(認知症介護研究・研修東京センター 研修部副部長)